

# 1. 調査報告概要表

## 【認知症対応型共同生活介護用】

作成日 平成20年1月22日

### 【評価実施概要】

事業所番号	2770108971
法人名	社会福祉法人 エージングライフ福祉会
事業所名	グループホームフローラ
所在地	堺市中区福田549番地8 (電話) 072-239-4165

評価機関名	社会福祉法人 大阪府社会福祉協議会
所在地	大阪市中央区中寺1丁目1番54号 大阪社会福祉指導センター内
訪問調査日	平成20年1月11日

### 【情報提供票より】(平成19年11月1日事業所記入)

#### (1) 組織概要

開設年月日	平成18年3月1日		
ユニット数	2ユニット	利用定員数計	18人
職員数	10人	常勤	10人, 非常勤 0人, 常勤換算 9.6人

#### (2) 建物概要

建物構造	鉄骨造りステンレス造り		
	2階建ての	1階 ~	2階部分

#### (3) 利用料金等 (介護保険自己負担分を除く)

家賃(平均月額)	40,000円	その他の経費(月額)	15,000円
敷金	有(円) 無		
保証金の有無 (入居一時金含む)	有(円) 無	有りの場合 償却の有無	有 / 無
食材料費	朝食	円	昼食 円
	夕食	円	おやつ 円
	または1日当たり 1,500円		

#### (4) 利用者の概要 (平成19年11月1日現在)

利用者人数	17名	男性	4名	女性	13名
要介護1	3名	要介護2	8名		
要介護3	4名	要介護4	1名		
要介護5	1名	要支援2	0名		
年齢	平均 83.1歳	最低	72歳	最高	92歳

#### (5) 協力医療機関

協力医療機関名	たかはたクリニック、小田訪問歯科、(医)生長会ベルランド病院、(医)温心会堺温心会病院
---------	---------------------------------------------

### 【外部評価で確認されたこの事業所の特徴】

社会福祉法人が運営するグループホームで、近隣には同法人の特養やグループホームがあります。「個人の意思を尊重し地域でよりよく生活が継続できる場を目指す」を理念として掲げ、利用者が家族、職員、地域住民と共に安心してその人らしい生活を続けられるよう支えています。隣接するクリニックの医師とホームの看護師資格のある職員との連携で、利用者は必要な医療と看護を受けることにより、安心感を得ています。

### 【重点項目への取り組み状況】

重点項目①	前回評価での主な改善課題とその後の取り組み、改善状況(関連科目:外部4) 前回の外部評価で示された事項について改善が進み、センター方式によるアセスメントが実施され、ケアカンファレンスが定例化しています。職員の研修も充実し、職員が利用者と一緒に食事を楽しむようになっています。
	今回の自己評価に対する取り組み状況(関連項目:外部4) 自己評価は、管理者と職員で話し合い、意見交換をしながら完成させ、サービスの具体的な改善に取り組んでいます。
重点項目②	運営推進会議の主な討議内容及びそれを活かした取り組み(関連項目:外部4,5,6) 運営推進会議は堺市福祉サービス公社事務局長、地域の代表、家族、利用者の参加のもとで、2ヶ月毎に開催しています。会議では敬老祝賀会への参加状況やホームの運営状況、行事、外部評価結果について説明しています。地域の代表者からは他施設の状況説明や、地域との交流をより深める方法についての意見が出されています。
	家族の意見、苦情、不安への対応方法・運営への反映(関連項目:外部7,8) 家族との面会時には、利用者の生活ぶりや連絡事項を伝えています。利用者の医療や安全に関わる事項については、必要の都度電話で家族に報告しています。毎月「グループホームフローラ新聞」を発行し、行事の報告をしていますが、利用者一人ひとりの生活ぶりや体調についても職員が手書きで書き込み家族に送付しています。 家族とは面会時にできるだけ会話をし、家族の希望や願い、不満を表せるように対応しています。また意見箱も設置し、家族の意見を表せる機会を設けています。
重点項目④	日常生活における地域との連携(関連項目:外部3) 自治会長や民生委員がホームの運営推進会議や敬老祝賀会に参加したり、利用者も自治会の運動会に参加しています。月に2回、小学生の下校時の見守り隊に参加する等して、地域住民と交流しています。近隣の高校で開催された菊花展にも見学に行っています。

## 2. 調査報告書

(  部分は重点項目です)

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
<b>I. 理念に基づく運営</b>					
1. 理念と共有					
1	1	○ <b>地域密着型サービスとしての理念</b> 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている	「個人の意思を尊重し地域でよりよく生活が継続できる場を目指す」を理念として掲げ、利用者が家族、職員、地域住民と共に安心してその人らしい生活を続けられるよう支えています。		
2	2	○ <b>理念の共有と日々の取り組み</b> 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる	理念は明文化し、ホーム内に掲示されています。毎月の業務会議やケアカンファレンス、毎日の業務を通じて、管理者と職員は理念を共有し、介護サービスに反映させるよう話し合っています。		
2. 地域との支えあい					
3	5	○ <b>地域とのつきあい</b> 事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに務めている	自治会長や民生委員がホームの運営推進会議や敬老祝賀会に参加し、利用者は自治会の運動会に参加したり、月に2回、小学生の下校時の見守り隊に参加したりして、地域住民と交流しています。近隣の高校で開催された菊花展にも見学に行っています。		

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
3. 理念を実践するための制度の理解と活用					
4	7	○評価の意義の理解と活用 運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる	前回の外部評価で示された事項について改善が進み、センター方式によるアセスメントが進み、ケアカンファレンスが定例化され、職員研修が充実し、職員が利用者と一緒に食事を楽しむようになっていきます。自己評価は、管理者と職員が話し合い、意見交換しながら完成させ、サービスの具体的な改善に取り組んでいます。		
5	8	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	運営推進会議は堺市福祉サービス公社事務局長、地域の代表、家族、利用者の参加のもとで、2ヶ月毎に開催しています。会議では敬老祝賀会での状況やホームの運営状況、ホームの行事、外部評価結果について説明し、地域の代表からは交流した他施設での状況説明や地域との交流をより深める方法についての意見が出されています。		
6	9	○市町村との連携 事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会づくり、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる	市の福祉サービス公社担当者とは、ホーム内の利用者が利用できるサービス制度等の相談をしています。		

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
4. 理念を実践するための体制					
7	14	○家族等への報告 事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々にあわせた報告をしている	家族との面会時には、利用者の生活ぶりや連絡事項を伝えています。利用者の医療や安全に関わる事項については、必要の都度電話で家族に報告しています。毎月「グループホームフローラ新聞」を発行し、行事の報告をしています。利用者の一人ひとりの生活ぶりや体調についても職員が手書きで書き込み、家族に送付しています。		
8	15	○運営に関する家族等意見の反映 家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	家族とは面会時にできるだけ会話をし、家族が希望や願い、不満を表せるように対応しています。また意見箱も設置し、家族の意見が表せる機会を設けています。		
9	18	○職員の異動等による影響への配慮 運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている	退職による職員の補充が続いています。ベテラン職員の頑張りでも利用者への影響は最小限に抑えることができていますが、利用者との馴染みの関係づくりや見守り、寄り添いに課題をかかえています。	○	職員が目標を持ってステップアップでき、やり甲斐を感じるような育成方針をたてることが求められます。また新人職員の採用にあたり、計画的な採用時研修の実施とその記録を残すことが求められます。
5. 人材の育成と支援					
10	19	○職員を育てる取り組み 運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	介護技術や認知症、感染症、食中毒、緊急対応等について、外部研修や法人内部の研修会で積極的に取り組まれています。職員のステップアップや希望にも配慮した研修の実施計画が望まれます。		

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
11	20	○同業者との交流を通じた向上 運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	同地区のグループホーム管理者が有志で行政に働きかけ、行政の仲介により、地区のグループホーム連絡会が昨年12月よりスタートし、2ヶ月毎に実施されることになりました。今後は意見交換や交流ができるようになっていきます。		

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
<b>Ⅱ. 安心と信頼に向けた関係づくりと支援</b>					
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応					
12	26	○馴染みながらのサービス利用 本人が安心し、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気徐々に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している	入居前には職員が入所施設や家庭を訪問したり、本人や家族にホームへの来訪をしてもらう等して、生活体験や行事に参加してもらい、馴染みの関係作りを行っています。家族や本人の不安を取り除き、安心して入居しサービスを提供できるように取り組んでいます。		
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援					
13	27	○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながら喜怒哀楽を共にし、本人から学び支えあう関係を築いている	職員は利用者と共に過ごし、学び支えあう関係を目指した支援を行っています。カラオケが得意で、場をリードしまとめ役をしてくれる利用者、唱歌を歌って他の利用者と共に楽しむ利用者など、その得意な能力を発揮しながら生き生きと活躍できるよう支援しています。		

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
1. 一人ひとりの把握					
14	33	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	センター方式によるアセスメントを丁寧に行い、思いや意向の把握に努め、利用者一人ひとりの思いや暮らし方の希望に沿いながら、生き活きと楽しく暮らせるよう支援しています。		
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し					
15	36	○チームでつくる利用者本位の介護計画 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している	センター方式によるアセスメント情報や利用者の現在の暮らし、心身の状況を把握するとともに、医師や看護師の意見、利用者や家族の意向・願いを反映した介護計画を作成し、家族の同意も得ています。		
16	37	○現状に即した介護計画の見直し 介護計画の期間に応じた見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している	入居時の介護計画は入居して3ヶ月後に見直しを行い、その後は6ヶ月毎に、また状態の変化がある時はその都度見直しを行っています。ケアマネジャーは職員や家族の意見を聞きながらモニタリングを行い、ケアカンファレンスを実施して介護計画の見直しにつなげています。しかし、モニタリングの記録書類が重複しているため、今後利用者の見守りや寄り添う時間をより多く捻出するためにも、より分かりやすく、簡素化されてはいかがでしょうか。		

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
3. 多機能性を活かした柔軟な支援（事業所及び法人関連事業の多機能性の活用）					
17	39	○事業所の多機能性を活かした支援 本人や家族の状況、その時々 の要望に応じて、事業所の多 機能性を活かした柔軟な支援 をしている	隣接するクリニックの医師と 看護師資格のある職員との 連携により、利用者の状態に 必要な医療と看護を行って います。診療科目によっては 必要により通院介助も行っ ています。		
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域支援の協働					
18	43	○かかりつけ医の受診支援 本人及び家族等の希望を大切 にし、納得が得られた、かか りつけ医と事業所の関係を築 きながら、適切な医療を受け られるように支援している	利用者は通常、隣接するクリ ニックの医師による医療を受 けていますが、診療科目によ っては利用者や家族の希望 により、以前からのかかりつ け医（医療機関）で引き続き 医療を受けています。協力病 院と連携し、夜間や急変時の 対応についての体制も整備さ れています。		
19	47	○重度化や終末期に向けた方針の共有 重度化した場合や終末期のあり 方について、できるだけ早い 段階から本人や家族等ならび にかかりつけ医等と繰り返し 話し合い、全員で方針を共有 している	ホームで看取りを行う方針は ありません。しかしホームと 家族間で、利用者が重度化 し、医療や看護が常時必要 となった場合は、医療機関で 対応してもらうことを、入居 時に確認しあっています。		

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
<b>IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援</b>					
1. その人らしい暮らしの支援 (1) 一人ひとりの尊重					
20	50	○プライバシーの確保の徹底 一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない	利用者一人ひとりを人生の先輩として尊重し、職員の言葉かけや態度は明るく丁寧で、やさしい雰囲気です。職員は採用時に個人情報の取り扱いについて法人と書面を取り交わしています。		
21	52	○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	利用者の生活リズムに配慮し、利用者のペースでゆったりと暮らせるよう支えています。職員が利用者を制止したり、急かしたりする言葉はなく柔軟な対応をしています。早起きが苦手な利用者には朝食時間に配慮し、晩酌をしたい利用者にも対応する等、利用者一人ひとりのペースが保てるよう支援しています。		
(2) その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援					
22	54	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	毎食調理済みの食材を業者から取り寄せています。食事準備、盛り付け、後片付け等に利用者も参加しています。一部の職員は同じものを食べながら、利用者の食べ方の混乱や食べこぼしに対するサポートをさりげなく行い、会話をしながら楽しく和やかな雰囲気を作っています。月に1回は調理レクリエーションとしてメニューの決定から買物、調理、後片付けまで利用者も参加しながら楽しんでいます。		



外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
23	57	○入浴を楽しむことができる支援 曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している	利用者は通常週に2回はゆっくり寛いだ入浴ができています。希望すれば毎日でも入浴することができます。	○	利用者が週に3回はゆっくりと寛いで入浴できるよう、体制整備と雰囲気作りが求められます。
(3) その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援					
24	59	○役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている	利用者は一日の生活の中で家事にそれぞれの役割を見つけ、分担し合いながら張り合いのある生活を送っています。編み物などの趣味を楽しんでいる利用者もいますが、退職による職員の入れ替わりで、利用者との馴染みの関係づくりが不十分となり、センター方式で把握した利用者の得意なことや役割、楽しみごとを実現するための支援が十分ではありません。	○	職員と利用者の馴染みの関係づくりに努め、センター方式のアセスメントで把握した利用者の得意なことや役割、楽しみごとを実現する支援が求められます。
25	61	○日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している	日常的に買物や散歩に出かけるとともに、利用者の希望に応じて喫茶店に出かけています。また、美容室に出かけたり、ご主人が入所されている施設への訪問に同行するなどの支援も行っています。花見や初詣、緑地公園への遠足や、外食にも出かけています。		

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
(4) 安心と安全を支える支援					
26	66	○鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる	玄関ドアやフロアードアとも日中の時間帯は鍵が開錠され、見守りだけで対応ができるようになっています。		
27	71	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている	災害対策として年1回の避難訓練を実施しています。非常・災害時のための食料品と水の備蓄については、法人本部で方針を決め、現在各事業所で実施に移されつつあります。	○	災害対策のマニュアルを定め、年2回の避難訓練をすることが求められます。非常・災害時のための食料品と水の備蓄についてもホーム独自の「非常用備蓄マニュアル」等の取り決めを作成し、備蓄をすることが望まれます。
(5) その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援					
28	77	○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	一日の食事摂取量と水分摂取量を把握し記録をとっています。栄養バランスについては、食材業者の管理栄養士よりアドバイスを受けています。		

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり (1) 居心地のよい環境づくり					
29	81	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	玄関の外まわりには花壇やプランターに季節の花が植えられ、内部には花や絵画、手作り作品、布袋さんの置物が飾られ訪ねやすい雰囲気になっています。明るくて、広い開放感のあるリビング兼ダイニングルームは落ち着きを感じさせる共用空間になっています。今後はより季節感が感じ取れる空間を創っていくことが望まれます。		
30	83	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのもを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	利用者が思い思いのベッド、整理ダンス、収納ケース、椅子、仏壇、装飾品、手作り作品、家族の写真等使い慣れた馴染みの物や生活用品を持ち込み、利用者一人ひとりが安心して過ごせる居場所になっている居室もあります。しかし事情により持ち込みの家具等がほとんどなく、もの淋しい居室もあるため、今後は利用者や家族と相談しながら、支援していくことが望まれます。		